

# としま 議会だより

令和6年12月発行（年4回発行）Toshima Village 2024.12 No.107



▲長崎県 小値賀町 デジタル化推進委員会行政視察

## TOPIX

### ○令和6年9月定例会

9月7日～9月15日（9日間）

- ・報告 4件
- ・条例の制定・改正 1件
- ・補正予算 7件
- ・契約 4件
- ・同意 5件
- ・決算認定 7件

### ○令和6年10月臨時会

- ・補正予算 1件
- ・契約 4件
- ・変更 1件

### ○一般質問 6件

- ・赤木 芳樹 議員・埜口 裕之 議員
- ・中島 次男 議員・永田 和彦 議員
- ・中村 勇貴 議員・日高 助廣 議員

2～3P

### ○予算審査特別委員会 4～6P

### ○議決結果 7～8P

議会事務局では、議会だよりの表紙に掲載する写真を随時募集しています。

赤木議員・埜口議員・中島議員・永田議員・中村議員・日高議員

○赤木議員 村長政策ビジョンの行財政対策に行政サービスの温度差の解消とあるが、研修等の状況について伺う。

表には出ない部分であるが、計画の根底にあるものを考えて実現できるように目指してみたい。

○久保村長 住民ニーズに速やかに対応し行政サービスの温度差を解消する事については、十島村総合振興計画、職員の人材育成を踏まえ、研修を通じて職員の自覚と使命感、能力の向上を促し、年間一つ以上の研修に派遣している。

○赤木議員 行政におけるフィロソフィのあり方について、どのように考え、取り組んでいくか伺う。

○久保村長 フィロソフィとは、「理念」で、施策として、



▲赤木 芳樹 議員

○埜口議員 地域おこし協力隊の採用数について、8月末現在で14名と県内でも群を抜いて多いが、どのような活動をしているか伺う。

○久保村長 地域おこし協力隊の活動内容として、農業

支援員・畜産ヘルパー兼耕種農業・ヒサカキの栽培管理・長命草やモリンガの栽培・漁業等に従事している。

定着率については、69.

8%であり、任期途中での離職は41.2%となっており、県内平均よりも高いという結果が出ている。



▲埜口 裕之 議員

現在4島にガソリンスタンドが整備されているが、今後3島にガソリンスタンドが整備された場合、フェリーとして2のガソリン積載量では供給が間に合わなくなる可能性の有無について伺う。

○中島議員 ガソリンスタンドのガソリン供給について、

○久保村長 フェリーとしてソリン800ℓの運搬許可をもらっており、国際法の観点から積載規制の緩和は難しい。輸送実績は欠航や折り返し便を考慮しても76%の輸送実績であり、あと3万9200ℓ輸送できることになることから、未積載分を有効活用出来れば効果的な輸送に繋がると考え

ている。また、給油所では、1400ℓまでの備蓄が可能であり台風時期においても燃料を確保することができる。



▲中島 次男 議員

○永田議員 フェリーとしま2の運航可否等の気象条件に関する具体的な数値については、久保村長 運航基準については、十島村運航基準に従い判断しており、発港の可否は風速毎秒20m以上、もしくは波高4m以上が見込まれる場合は、発港を中止して

いる。また、各港の入港においては、鹿児島港は風速15m以上、波高0.8m以上、視程500m以下が見込まれる場合、村内各港においては、風速20m、波高2m以上、視程500m以下、名瀬港は、風速15m、波高1m以上、視程500m以下のいずれかの条件の場合、抜港等の措置をとることとしている。



▲永田 和彦 議員

○中村議員 村営住宅について、設計や施工の不備でない

かと思われる不具合があるという事を聞く、把握と対応について伺う。

○久保村長 施工上のトラブルについては、完成時に検査担当職員が確認したうえで引き渡しをうけており、把握していない。

引き渡し後の不具合については、状況を確認し、原因を究明したうえで、施工者に責任がある場合は、施工者に対して、必要な措置をとるよう求める。



▲中村 勇貴 議員

○日高議員 交通体系強化の為、民間高速船での航路開設を図るべきと考えるが、考えを伺う。

○久保村長 交通体系強化について、本村には定期船が、すでに運航しており、村民の足として、国庫補助を受けながら運航していることから、新たな定期航路は考えていない。また、民間高速船との接続においても、岸壁の使用許可、人員の配置等対応することはできないと考える。



▲日高 助廣 議員

一般会計

〈総務課〉

問 車検運賃補助の対象範囲の周知について

答 車検運賃補助について、掲示等も行っているが、再度周知を図りたい。

問 航空路の再開について

答 航空会社からは、9月あるいは10月に運航を再開したいという旨の連絡があったが、飛行場の滑走路整備事業が10月から12月までの工期で行われることから、12月以降の再開となる。

問 ふるさと納税の返礼品の種類について

答 人気なものは、島バナナで、次いで乗船券となっている。返礼品としては、現在18品目を登録している。

〈地域振興課〉

問 就業者育成の労務管理について

答 就業者育成の労務管理については、出張所長が行っているが、全ては確認できていない。農林業は、里親がついていけば業務記録で確認できるが、一人で作業を行っている場合は、作業内容を具体的に記載するように取り組んでいる。

問 口之島の燃岳の登山について

答 村として、今のところ観光地として周知は行っていない。まずは、現状を確認するのが先であると思う。今のところ、携帯電話も繋がらない場所のため、不安要因がある以上、登山は控えてもらいたい。

〈土木交通課〉

問 危険木伐採の高所作業車導入について

答 高所作業車を導入した際に、小さな木であれば問題ないと思うが、巨木もあることから危険性もあり、専門知識を伴うことから、業者へ依頼する現在の形態が安全であると考えている。

また、高所作業車を導入すれば、メンテナンスや操作の講習も必要なことから、どちらが良いのか検討したい。

問 馬毛島工事の工期延長による影響について

答 作業船と作業用地の確保が困難な状況が続いており、各港の事業執行に支障をきたしているが、先に、ブロック等の製作を行い工事に取り組んでいく。

問 切石港泊地埋塞の原因について

答 噴火回数が増加による、降灰の影響が大きいと推測している。

抜本的な対策としては、一昨年より、国・県をはじめ、鹿児島大学も含めて、助言、アドバイスをもらうように取り組んでいるが、具体的な対策の立案には至っていない。また、調査を行うにも高額な費用が掛かることから、村としては、財政的なところを含め、県を巻き込んで一緒に動いていきたい。

# 令和5年度決算審査

## 〈住民課〉

問 令和5年度の住民医療費助成について

答 令和5年度の住民医療費助成の額が減少している要因として、再編交付金事業が始まったことが要因として挙げられる。

問 浄化槽の維持管理費助成について

答 高齢者世帯浄化槽維持管理費助成については、業者への支払いが済んでいる方が補助の対象となっている。

支給されていない方については、期限内に業者への支払いが済んでいない方となっている。令和5年度は、業者の方からも納付率が良くなかったと話があり、業者からも積極的に納付の呼びかけを行うとのことであった。

## 〈教育委員会〉

問 教員住宅のシロアリ被害について

答 シロアリが発生しないように対策するのを基本として、段ボールを置いたままにしないなどを校長から注意喚起している。

今後シロアリが来ないように、建築士とも連携しながら対応したい。

問 職場体験学習の委託について

答 委託費用については、宿泊費・バス・保険料の費用を含めた額となっている。事業者の選定は、職場体験学習の担当校が、子供たちの希望を募り選定している。

## 特別会計

### 〈国民健康保険特別会計〉

問 国保税の収入未済について

答 10年ほど前の1名の滞納分となっている。今後支払いをお願いし、支払いができれば、不能欠損の対象を検討する。

問 保険給付費の上昇について

答 がん患者の治療費が高額になったというところで上昇しており、令和6年度も上がるような状況である。

問 人間ドックについて

答 特定検診では見つからないガンもあるかと思う、そういった事を含めて周知を検討したい。

### 〈船舶交通特別会計〉

問 フェリーとしま2の日常点検について

答 事故があった際も機関の点検は問題なく行っており、火災が発生するまでの燃料噴射ポンプの圧力低下を示すデータはなかったが、二度とこのような事故が起きないように、点検は今一度徹底して行う。

問 荷役車両の購入補助について

答 荷役車両の購入補助については、車両の更新という面では国の補助金が下りにくい状況であるため、今後各島の荷役車両の購入について、検討中である。

# 令和5年度決算審査

## 〈介護保険特別会計〉

問 支援サービスについて

答 基本的に、見守り支援の訪問や買物支援等の支援サービスの中で実施している。

入浴支援は中之島のみ実施しており、口之島も必要な人がいた際は対応しているケースがある。

## 〈簡易水道特別会計〉

問 水道料金の改定について

答 平成30年に改定を行って、令和元年10月には、消費税増税に伴う値上げを行っている。それぞれの島に施設があり、維持管理費が掛かる。また、起債の償還も始まることから、料金の改定を検討しなければならぬと思うが、上げ幅等、近隣自治体との整合性をとりながら今後検討していく。

問 生活支援コーディネーターについて

答 生活支援コーディネーターについては、県が主催する研修を受講したものになっており、介護補助員や、地域おこし協力隊のスタッフは、研修を受けて任命されている。

問 停電時の水道について

答 台風の停電で、滅菌機が動かなかったことから、水道水を飲用する場合は、煮沸して利用するよう案内を行った。今後も停電する可能性はあり、発電機又はバッテリー式の物を含めて検討が必要かと考えている。

問 食の支援について

答 提供時間といったルールを守り、食中毒の報告はない。

## 〈後期高齢者医療特別会計〉

問 高齢者の人間ドックについて

答 人間ドックは、広報誌で周知しているが、イメージがつかない方もいると思うので、説明が出来るようにしたい。

〈へき地診療所運営事業特別会計〉

問 看護師業務のウエイトについて

答 一番のウエイトとしては、診療に訪れる患者あるいは、急患の対応が大きいと思う。併せて、電子カルテでないことから、月末にレセカルテというものの作成、これが二番目に大きなウエイトかと考える。

## 総括質疑

問 地籍調査について

答 地籍調査については、現在、口之島を調査しており、早ければ来年度に、予算の内示額によつては、令和8年度まで調査に時間が掛かる見込みである。口之島完了後は、中之島を2年程度かけて調査を行い。その後、平島・宝島を行う予定とされているが、予算の内示額に対して低いことに加え、高齢化が進んでおり、調査範囲が限られる状況になっている。

# 議決結果

(議決結果)

## 令和6年第3回(9月)十島村議会定例会

議案番号	件名	議決結果
報告 第15号	契約の締結の件(中之島へき地寄宿舎整備工事請負契約)	承認
報告 第16号	契約の締結の件(平島学校校舎・屋内運動場外壁等改修工事請負契約)	承認
報告 第17号	契約の締結の件(悪石島教員住宅整備工事請負変更契約)	報告
報告 第18号	損害賠償の額を定める件	承認
議案 第57号	令和6年度十島村一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案 第58号	令和6年度十島村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案 第59号	令和6年度十島村船舶交通特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案 第60号	令和6年度十島村介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案 第61号	令和6年度十島村へき地診療所運営事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案 第65号	契約の締結について議決を求める件(悪石島送水施設工事(R5補正)請負契約)	原案可決
議案 第56号	十島村ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決
議案 第62号	契約の締結について議決を求める件(東之浜港改修工事(R6-1工区)請負変更契約)	原案可決
議案 第63号	契約の締結について議決を求める件(東之浜港改修工事(R6-2工区)請負変更契約)	原案可決
議案 第64号	契約の締結について議決を求める件(村営住宅口之島9号棟新築工事請負契約)	原案可決
同意 第4号	教育委員会委員の任命について同意を求める件	原案可決
同意 第5号	教育委員会委員の任命について同意を求める件	原案可決
同意 第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	原案可決
同意 第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	原案可決
同意 第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	原案可決
議案 第66号	令和6年度十島村一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案 第67号	令和6年度十島村船舶交通特別会計補正予算(第2号)	原案可決

# 議決結果

(議決結果)

## 令和6年第2回(10月)十島村議会臨時会

議案番号	件名	議決結果
報告 第19号	令和6年度十島村一般会計補正予算(第4号)について	承認
議案第68号	契約の締結について議決を求める件(冷蔵コンテナ物品売買契約)	原案可決
議案第69号	契約の締結について議決を求める件(小宝島港改修工事(1工区)請負契約)	原案可決
議案第70号	契約の締結について議決を求める件(小宝島港改修工事(2工区)請負契約)	原案可決
議案第71号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の変更の件	原案可決
議案第72号	契約の締結について議決を求める件(令和6年度フェリーとしま2第一種中間検査及び一般工事請負契約)	原案可決

## 令和6年度補正予算

・一般会計 補正第2号	+370,825千円	→	4,376,205千円
・国保特会 補正第1号	+16,305千円	→	184,909千円
・船舶特会 補正第1号	+76,115千円	→	1,538,653千円
・介護特会 補正第1号	+3,783千円	→	82,800千円
・診療所特会 補正第2号	+1,519千円	→	235,342千円
・一般会計 補正第3号	+27,855千円	→	4,404,060千円
・船舶特会 補正第2号	+1,221千円	→	1,539,874千円
・一般会計 補正第4号	+11,871千円	→	4,415,931千円

### 編集後記

今回の議会だよりは、六名の議員の一般質問と議決結果を中心に編集しています。

議長 坂元 勇

議会広報調査特別委員会

委員長 竹内 功

副委員長 中島 次男

委員 中村 勇貴

委員 埜口 裕之

委員 日高 助廣

委員 永田 和彦

委員 赤木 芳樹

11月20日長崎県小値賀町議会6名が本村議会のペーパーレス等のデジタル化への取組みについて視察に来庁されました。



▲行政視察の様子